



2014
第17号

私たちは、24時間
質の高い医療を提供し
皆様に、
安心・信頼・満足
していただける
病院を目指します。

北九州市立八幡病院 職員一同



Index

巻頭言	1	新機種紹介	5
連携医療機関のご紹介	2	診療科紹介	6
災害医療研修センター発足から2年間の活動報告	3-4	連携室だより	6
部長医師のご紹介	3-4	診療体制表	裏表紙

巻頭言

病院長
市川 光太郎



あっと言う間に平成25年が過ぎ去ってしまいました。昨年はことさら異常気象という言葉を噛みしめる年であったと回想していますが、きっとみなさまも同感のことと拝察しております。気象の変化は頭の隅に、心の中に残りましたが、自分の行い、医療行為としてのプロダクト、さらには病院としてのアウトカムなどを考慮すると頭の隅にも心中にも良い想い出としては残らない年であった気がしています。必死の思いで病院稼働状況の好転に向けて努力し、願うものの、これまた自然界のうねりでもある病気の発生という自然現象を動かすことはできない実感、無力感を感じる年であったとも思っています。なんとかして、新病院の施設能力をより良きものにしていくためにも、この数年の病院としての実績・アウトカムはきわめて重要です。全職員がこのことを理解して病院事業に取り組んで行かねばならない時期であり、その実践が求められています。全職員の気持ちを同一にして、この難関に向かいたいと願っています。

幕末の大変な時期に、大胆な財政建て直しに成功した備中松山藩の陽明学者「山田方谷(やまだほうこく)」が、財政に苦しむ越後長岡藩の「河井継之助」宛に送った手紙の文章の中に、『至誠惻怛(しせいそくだつ)』という言葉があります。至誠は「真ごころ」を表し、惻怛は「いたみ悲しむ心」という意味があるそうです。このような人間としての「真ごころ」を重視し、それを自分の中で膨らまし、加えて、ヒトを「いたみ悲しむ心」を常に兼ね備えていくことが医療人に求められているといえます。このような「至誠惻怛」という心の醸成は1日にしてはならないものと予測されますが、独りで獲得していくのも困難な一面があるかと思います。病院全体が、このようなソフトカラーに包み込まれることが大事であり、そのような雰囲気が隅々、末端まで行き届くことが最も重要と考えます。すなわちつつまれること医療に関わる人の日々のあり方の基本とすべき心の姿勢が「至誠惻怛」という「心」なのだろうと思っています。

病院を訪れられる全ての人たちに、紹介をしてくださる全ての先生がたに満足が与えられるができる年にしたいと心から願っています。

基本方針

1. 医療の安全に万全を期し、科学的根拠に基づく、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの生命の尊厳とプライバシーを守り、患者さん中心の医療を行ないます。
3. 保健・福祉・医療機関と連携し、地域社会への積極的な医療貢献を果たします。
4. 教育・研鑽に努め、専門的な知識、熟練した技能をもって、信頼と責任ある医療を提供します。
5. 公共性、経済性を考慮した健全経営に努めます。

あまもと 小児科医院



当院は若松西部地区の高須、丘を下るとすぐに水巻町になる北九州の西の外れにあります。平成8年10月に開院し、今年で丸17年を迎えます。高邁な志があるわけではありませんが、子供たちやその保護者に親しまれる医院であることを目標とし、スタッフと共に日々反省と改善を繰り返しています。また、保護者の疑問に可能な限りお答えすること、治療するだけではなくたとえ一言でも良いアドバイスを持ちかえってもらうよう心掛けています。

最近の少子化の流れからか、ここ数年当院の外来患者数もじわじわ減少しており、インフルエンザの流行期に夜8時過ぎまで診療しても待ちくたびれた患者さんが帰ってしまうなどと言うのは昔話になりつつあります。このことは、もう一言のアドバイスを飲み込み患者さんを返してしまうストレスから私を解放してくれましたが、経営的には将来の不安材料です。

患者が減少したとは言えハラハラ、ドキドキしながら診る患児もいます。出来る限り外来治療で治そうとするのが私の診療スタイル(インターネット上では“あまもと小児科は粘る医院”との評判(悪評?)のようです。)で、このため市立八幡病院には要らぬご迷惑を掛けていると思います。また自分のスタイルで診療できるのも八幡病院の存在あってのことと感謝し、心強く感じています。市立八幡病院小児科は紹介先として安心できる病院であり、紹介患者を引き受ける心構えは周辺の総合病院と一緒に線を画します。

感染症が減ってきて一方、ワクチン後進国であった日本もやっと定期接種化するワクチンが増え、開業医におけるワクチン関連の仕事量は急速に増え複雑になりました。この現状下、ワクチン接種スケジュール作成などのアドバイス、接種事故の防

止などにスタッフ総出でアイデアを出し合い取り組んでいます。あまもと小児科があるのは、正に子供たちと医院のために頑張ってくれているスタッフの御蔭と感謝しています。これからも一層地域の子供たちの健康に貢献できる医院であるよう努めます。



あまもと小児科医院

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東4丁目2-3

☎093-742-1661

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 09:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 14:30~18:00	○	○		○	○	○

休診日／日曜・祝日 土曜日午後は14:00~17:00

火曜日(乳児検診、予約制) 14:30~16:00

金曜日(1歳半・3歳検診、予約制) 14:00~14:30

火曜日午後の一般診療 16:00~



北九州市立八幡病院災害医療研修センター 発足から2年間の活動報告

救命救急センター・災害医療研修センター長 伊藤重彦

2010年の東日本大震災では、「大災害は必ずやってくる」ことを思い知らされました。しかしながら、台風被害の少ない福岡県、とりわけ北九州では、普段から風水害や地震に晒されている地域に比べ、地震など災害への防災意識が低い印象があります。どんなに備えがあっても、災害では必ず被害が出ます。災害時の被害を最小限にするためには、心の準備、物の準備、そして情報システムの準備が必要です。そこで2011年10月、効果的な医療支援活動を目的に、病院内に災害医療研修センターを設置しました。設立して2年が経過しましたので、活動についてご報告します。

1. 市立八幡病院の統括DMATについて

災害時の派遣医療チーム活動の成否を握る力ギは、規律のある指揮・命令系と迅速で正確な情報収集・伝達系の確立です。北九州市立八幡病院は、北九州市医師会災害時医療救護計画のなかで、この地域の災害医療チームを統括するコマンダー施設に指定されています。高速道路事故、列車事故、北九州空港旅客機事故などの局地災害、化学災害・NBC災害などの特殊災害では、北九州市地域防災計画に基づき、北九州市消防局司令センターから当院の統括

DMATに派遣指示がだされます。統括DMATの1チームが出動し、災害現場で他の災害拠点病院から派遣されてくる災害医療チームの指揮を執ります。そのために、普段から、行政、消防機関、空港事務所、自衛隊、海上保安庁など関係機関との協議や、災害拠点病院間の連携訓練、現場医療本部の情報収集・伝達訓練、関係機関との総合訓練などを行っています。

2. 災害対策チームによる訓練研修会(北九州モデル) の開催状況

北九州モデルは、市立八幡病院災害医療研修センター、北九州市医師会、八幡地区の三師会を中心となって進めてきました。特に、多職種連携を目指して、医師、看護師(看護学生)、薬剤師、歯科医師、医療事務職、消防隊員、海上保安庁職員に対する研修会を積極的に行ってきました。2日間(2時間/日)の参加が必要な夜間訓練コースを修了すると、三師会各団体から災害現場に入る通行パス(修了証)が発行されます。最初の1年間で900名以上が受講され、訓練活動は順調に経過しています。まだ参加されていないかたは、ぜひご参加ください。また市民

部長医師のご紹介



救急科
田口 健蔵

2013年4月から災害医療研修センター・救急科に配属となりました田口健蔵です。

前任地の横浜ではER型救命救急センターと臨床研修センターを担当し、救急医療と研修医教育に携わって参りました。また、災害医療においては、東日本大震災で災害医療派遣チーム(DMAT)の一員として活動し、現在も厚生労

働省のDMAT隊員養成研修などで災害医療教育を行っております。

今後は地域の先生方と緊密な連携を取りながら、八幡病院での救急診療を進めて参りたいと思います。また、医師会の災害医療研修会等でお世話になることもあるかと思います。その際はどうぞ宜しくお願い致します。

向けの講演会等、行政主催、県医師会主催の講演会や訓練研修会の企画・運営に当院の災害対策チームが多数参加しています。大震災以降の訓練・研修会や講演活動を表1に示します。写真1と2は11月5日と6日に開催された八幡医師会での北九州モデル研修会の様子です。



写真1



写真2

八幡病院DMAT 災害対策チーム活動(2010~2013.11)

年	イベント・訓練	場所	主催	活動内容
2011年				
2月21日~22日	日本集団災害医学会	金沢	金沢大学	学会発表
3月12日~14日	東日本大震災 医療支援	宮城	厚生労働省	DMAT出動
3月26日~28日	東日本大震災 医療支援	茨城	福岡県医師会	JMAT出動
5月14日	日本DMAT技能維持研修	宮崎	厚生労働省	DMAT参加
6月 5日	福岡県総合防災訓練	芦屋	福岡県	DMAT参加
9月25日	看護師卒後研修会一災害看護	福岡	福岡県医師会	講演講師
9月27日	北九州空港航空機海上事故訓練	苅田	大阪航空局	DMAT参加
10月 9日	北九州市防災フォーラム	小倉	北九州市	講演講師
12月 6日・7日	八幡地区北九州モデル災害訓練	八幡	八幡医師会	訓練講師
12月 9日	平成23年度救急救助技術訓練	小倉	北九州市消防局	DMAT参加
2012年	イベント・訓練	場所	主催	活動内容
1月 7日	災害時医療救護訓練・研修会	福岡	福岡県医師会	訓練講師
1月27日	平成23年度特殊災害対応訓練	小倉	北九州市消防局	DMAT参加
1月30日・2月 1日	八幡地区北九州モデル災害訓練	八幡	八幡医師会	訓練講師
2月 2日	看護生涯教育研修一災害看護		福岡県医師会	講演講師
3月 3日	北九州モデルJMATコース災害訓練	小倉	北九州市医師会	訓練講師
5月11日	若松区三師会合同研修会(第3回)	若松	若松区三師会	講演講師
6月 3日	福岡県総合防災訓練	糸島	福岡県	DMAT参加
6月11日・12日	若松地区北九州モデル災害訓練	若松	若松医師会	訓練講師
7月17日	遠賀・中間地区三師会研修会	遠賀	遠賀・中間三師会	講演講師
7月19日	災害医療研修会	小倉	災害フォーラム	講演講師
9月 4日・ 6日	八幡地区北九州モデル災害訓練	八幡	八幡医師会	訓練講師
10月12日	平成24年度特殊災害対応訓練	小倉	北九州市消防局	DMAT参加
10月25日	北九州空港航空機事故訓練	空港	大阪航空局	DMAT参加
11月17日・18日	日九州・沖縄ブロックDMAT訓練	熊本	厚生労働省	DMAT参加
11月21日	北九州市総合防災訓練	小倉	北九州市	DMAT参加
11月26日・27日	遠賀中間地区北九州モデル災害訓練	遠賀	遠賀中間医師会	訓練講師
2013年	イベント・訓練	場所	主催	活動内容
1月 8日	平成24年度救急救助発表会	小倉	北九州市消防局	DMAT参加
1月10日・11日	日本DMAT技能維持研修	福岡	厚生労働省	DMAT参加
2月 9日	北九州モデルJMATコース災害訓練	小倉	北九州市医師会	訓練講師
3月 2日	災害時医療救護訓練・研修会	福岡	福岡県医師会	訓練講師
3月23日	DMAT災害時医療救護訓練研修会	福岡	福岡県医療指導課	訓練講師
3月24日	DMAT・災害拠点病院研修会	福岡	福岡県医師会	訓練講師
6月 2日	福岡県総合防災訓練	大牟田	福岡県	DMAT参加
10月11日	特殊災害(NBC)訓練	小倉	北九州市消防局	DMAT参加
10月12日	市民公開セミナー	八幡	災害フォーラム	講演講師
10月17日	北九州空港航空機事故訓練	空港	大阪航空局	参観
10月18日	除染テント立ち上げ	院内	災害対策チーム	
11月 5日・ 6日	八幡地区北九州モデル災害訓練	八幡	八幡医師会	訓練講師



形成外科
福井 季代子

2013年4月より、市立八幡病院形成外科に勤務させていただいている福井季代子です。

長崎大学形成外科所属で、福岡県での勤務は初めてです。

北九州市立八幡病院では小児の症例が多く、先天奇形等の症例がたくさんあり、しっかり勉強させていただきたいと思います。

また、手の外傷や顔面骨骨折等の症例も多く、外傷の手術もたくさん経験していきたいと思います。

少しでもお役に立てるよう精いっぱい頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

新機種紹介

効率UP & 低被曝

フラットパネル(FPD:Flat Panel Detector)を導入しました

放射線科 診療放射線技師長 山下三樹

八幡病院の2室のX線装置が最新式になり、併せてこれまでのCR(Computed Radiography)からFPD(Flat Panel Detector)に変わりましたのでご紹介いたします。

CRはカセットの中のIP(Imaging Plate)という薄いプレートにX線を曝射→読み取り装置に装填→レーザー光を当てて信号を読み取り→A/D変換・増幅→デジタル信号として取得→コンピュータで処理→X線画像完成、となります。

これに対しFPDはX線を受けるパネル自体が検出器となっていて直接変換方式と間接変換方式の2種があり、当院では後者を採用しました。

間接変換方式ではパネルの表面に蛍光体があり、X線が当たって出る光をその下にあるフォトダイオードで電荷に変換→TFT(Thin Film Transistor)で電荷を読み出し→A/D変換・増幅→デジタル信号取得となります。コンピュータ処理により画像を作るのはCRと同じですが曝射後約3秒と画像表示までの時間が非常に短くなりました。

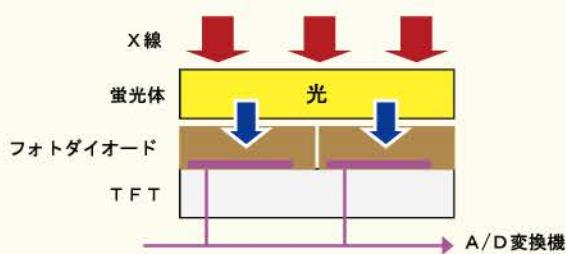
またCRと比べて高いDQE(Detective Quantum Efficiency:量子検出効率)を持つため、より少ないX線量で同等の画質が得られ、被曝線量を減少させる事ができました。

なおFPDはワイヤレスで使用できる上、それ自身がX線を検出できるのでポータブル撮影にも対応しています。ポータブル用のコンソールと無線ユニットを使用し、撮影したその場で画像を確認することができます。

以上のようにFPDを導入することで救急撮影の多い当院で短時間で効率的かつ低被曝の撮影が実現できました。今後残る2部屋も順次更新して、よりよい撮影室を作っていくたいと思います。



FPDの原理



CR

X線曝射から
画像取得までの時間

約50秒

被ばく線量

—

設置面積

読み取り装置が大きい

撮影可能枚数

1つの撮影に1枚

FPD

約3秒

部位により2~4割減

省スペース

1枚で複数の撮影可能

診療科紹介

循環器内科

循環器内科主任部長 原田 敬

循環器内科は、心筋梗塞や狭心症、高血圧、心不全、不整脈等の心血管病が対象で、冠動脈疾患のカテーテル治療では昼夜をとわずに治療が可能です。一方、最近は、末梢動脈疾患と重症高血圧の診療を充実させてきました。

近年の高齢化により、末梢動脈疾患が増えています。この疾患は進行すると壊疽で切断に至る場合もあります。しかし最近では、治療技術の進化で重症例にもカテーテル治療が可能になってきました。早期に発見すれば大丈夫なので、歩行後しばらくして足が痛くな

つたり、冷えて痛んだり、足指の色調が紫色になるようなら診察を受けましょう。

高血圧の中には多数の降圧剤でも血圧が改善しない治療抵抗性高血圧が存在し、治療を受けている患者さんの約1割を占めています。この疾患は、原因を調べて対処可能な場合が少なくありません。腎動脈狭窄症や原発性アルドステロン症はその代表です。腎動脈狭窄症は動脈硬化が原因で、腎動脈エコー検査で診断し、カテーテルで治療します。またアルドステロン症は、副腎の良性腫瘍が原因で、血液中

編集後記

さらくら第17号でご案内する連携医療機関は、あまもと小児科医院です。お忙しい中でのご寄稿、大変ありがとうございました。特集の一つは、2011年10月に開設した災害医療研修センターの活動報告です。新病院では災害医療をさらに充実させていく予定です。もう一つは、新しく導入したX線装置の紹介です。ぜひ一読ください。八幡病院をもっと知って頂くための、診療科紹介コーナーは、今回循環器内科を紹介します。

(広報委員会 委員長 伊藤重彦)

私は、生まれも育ちも岩手県花巻。東北人の粘りで、「じっくり」と地に足の着いた仕事をしたい、と思います。もともと、北九州市に住んで何十年も経ちましたが(そう、舟越さんも岩手県出身でした)。「仕事の仕方は、その人の生き方」です。いい人生を送るためにも、気持ちを込めて働きたい、と考えております。

今、市立八幡病院は、新しい病院建設の準備に着手をしております。バイブル的に言えば「新しい

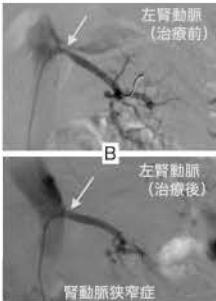
医療もチームワークの時代です。地域の医療機関と手を携え、役割分担をしつつ信頼される病院となるべく、更に努力して参ります。

写真1:重症高血圧を治す



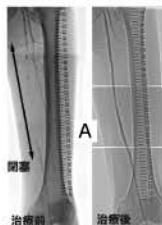
A:原発性アルドステロン症

40代女性、3種類の降圧剤でも改善なく紹介された。左副腎に腫瘍を認め、当院にて腹腔鏡で摘出。現在降圧剤1種類で良好な状態。



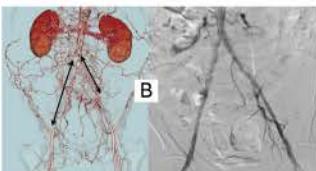
B:腎動脈狭窄症
60代男性、4種類の降圧剤でも改善なし。腎動脈エコーで左腎動脈に狭窄を認め、カテーテル治療施行。現在、降圧剤2種類で良好な状態。

写真2:末梢動脈疾患をカテーテルで治す



A:浅大腿動脈閉塞

60代女性、300mほど歩くと足が痛くなる。浅大腿動脈(太ももの動脈)が閉塞しており、カテーテルで治療。現在症状なし。



B:左右腸骨動脈閉塞
70代男性、以前より歩くと足が痛くなっていたが、最近は100m程度も歩けない。CT検査で左右腸骨動脈(骨盤内の動脈)が閉塞しており、カテーテルで治療。現在ゴルフを楽しめるようになった。

のホルモン検査で診断し、腹腔鏡で腫瘍摘出が行われます。これ以外でも原因が見つかることもあります。治療抵抗性高血圧でお困りの場合はぜひご相談下さい。

だより
連携室



戸来 義臣
医療連携推進部長

酒は、「新しい皮袋に」となるのでしょ

うが、新しい施設は、あくまでもハードです。新病院が出来上がるまでに、いかにハードを使いこなす

新しいソフトが出来上がっているか、が大切となります。今、産みの苦しみの時期を迎えている、とも

平成25年の4月から八幡駅前

にあります。佐藤忠良作「早蕨」(さわらび)を見つめ、医療連携室に通つてお

ります。3月までは、佐藤の親友、

舟越保武の「シオン」を見ながら市

立医療センターに通つていました。

私は、生まれも育ちも岩手県花

巻。東北人の粘りで、「じっくり」と

地に足の着いた仕事をしたい、と

思います。もともと、北九州市に住

んで何十年も経ちましたが(そ

う、舟越さんも岩手県出身でした)。

「仕事の仕方は、その人の生

き方」です。いい人生を送るために

も、気持ちを込めて働きたい、と考えております。

私は、生まれも育ちも岩手県花

巻。東北人の粘りで、「じっくり」と

地に足の着いた仕事をしたい、と

思います。もともと、北九州市に住

んで何十年も経ちましたが(そ

う、舟越さんも岩手県出身でした)。

「仕事の仕方は、その人の生

き方」です。いい人生を送るために

も、気持ちを込めて働きたい、と考えております。

私は、生まれも育ちも岩手県花

巻。東北人の粘りで、「じっくり」と

地に足の着いた仕事をしたい、と

思います。もともと、北九州市に住

んで何十年も経ちましたが(そ

う、舟越さんも岩手県出身でした)。

「仕事の仕方は、その人の生

き方」です。いい人生を送るために

も、気持ちを込めて働きたい、と考えております。

私は、生まれも育ちも岩手県花

巻。東北人の粘りで、「じっくり」と

地に足の着いた仕事をしたい、と

思います。もともと、北九州市に住

んで何十年も経ちましたが(そ

う、舟越さんも岩手県出身でした)。

「仕事の仕方は、その人の生

き方」です。いい人生を送るために

診療体制

平成26年1月6日現在

科名	受付時間	月	火	水	木	金
内科 内科 循環器全般 専門外来	8:00~11:00	吉田 有吾	吉田 有吾	伊藤 光佑	加藤 達治	吉田 有吾
				(金曜午後のみ予約制)		伊藤光佑/立和田隆
		大塚 隆史		黒住 旭		隔週PMのみ
		酒見 亮介	末永 章人		酒見 亮介	新生 忠司
		伊藤 千与	松岡 英彦			末永 章人
小児科 診察室1 診察室2 診察室3 診察室4 診察室5 処置室 乳幼児検診 予防接種	8:00~11:00	立和田 隆	岩垣 端礼			中野 和久
		小住 清志	太崎 博美	原田 敏	太崎 博美	伊藤 千与
		酒井 孝裕		屏 壮史	小住 清志	田中 正哉
				総合血管内科	脂質異常症	高橋 正雄
					肺高血圧症	
外科 一般外科 消化器・肝臓外科 呼吸器外科 小児外科	8:00~11:00	市川光太郎 外傷外来	山根 浩昌	市川光太郎 【午後は予約制】	山根 浩昌	市川光太郎
		富田一郎・石橋紳作 13:00~16:00	天本 正乃	天本 正乃	外傷外来	天本 正乃
		8:00~11:00	今村 徳夫	八坂 龍広	富田一郎・石橋紳作 神経外来(第4W)	【午後は予約制】
		13:00~16:00	神園 淳司 【午後は予約のみ】	神園 淳司 【午後は予約のみ】	今村 徳夫	今村 徳夫
		8:00~11:00	金 奉吉	松島 卓哉	松島 卓哉	金 奉吉
		13:00~16:00	山根 浩昌	山本 剛士	夜尿症外来	腎外來
		13:00~16:00	金 奉吉	今村 徳夫	松島 卓哉	石橋紳作
		13:00~16:00	循環器	往診・在宅	往診・在宅	循環器
		【要予約】13:00~14:30 (第5週を除く)	富田 一郎	山本 剛士	富田 一郎	富田 一郎
					山本 剛士	山本 剛士
外科外来は旧小児科外来へ移動しました。						
整形外科 脊椎	8:00~11:00	野口 純也 久永 真	伊藤 重彦	山吉 隆友 久永 真	松本 彩	伊藤 重彦
		岡本 好司	木戸川 秀生	岡本 好司	木戸川 秀生	野口 純也 長尾祐一
			井上 征雄		井上 征雄 (第2木曜日は休診)	山吉 隆友
		桝屋 隆太			桝屋 隆太	
形成外科 口腔・口蓋外	8:00~11:00	福井季代子 李 龍二	田崎 幸博	福井季代子 李 龍二	李 龍二	田崎 幸博
			福井季代子			福井季代子
脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科	8:00~11:00	越智 章 氏福 健太	岩永 充人	野田 満 氏福 健太	上戸 康平	野口 雅夫
		藤野 雅世	藤野 雅世	藤野 雅世	田中 尚洋	辻 正二
		森下 直由	森下 直由	森下 直由		
		王 志洪	王 志洪	王 志洪		
		中島 大輔				
放射線科 耳鼻咽喉科 精神科 歯科 超音波検査 消化管造影 ペインクリニック 健康診断	8:00~12:30 (予約のみ)	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	岩田健作/森朋美
		白石 康子	白石 康子	白石 康子	白石 康子	麻生 裕明
		岡上 明正	岡上 明正	岡上 明正	岡上 明正	白石 康子
		今福 義博	今福 義博	今福 義博	今福 義博	岡上 明正
		石田 昌一			金色 正広	今村 紹美
外来診療時間 初診・再診受付:午前8時~午前11時 ※ただし急患はこの限りではありません						

第2夜間・休日急患センター

一般病院や診療所が診療していない時間帯に急患の診療を行う施設です。

診療科 診療時間

内科	平 日 午後7:30~午後11:30
外科	日・祝祭日 午前9:30~午後11:30

**コムシティへ
移転しました!**

※受付は診療終了時間の30分前までです。

救命救急センター

救急車での搬送、他病院からの紹介等で、重症患者の診療を行う施設です。

診療時間

24時間365日体制

診療科

●内科 ●外科 ●脳神経外科

小児救急センター

すべての小児急患(一次から三次まで)を24時間365日受け付けています。

診療時間

24時間365日体制

診療科

●小児科

北九州市立八幡病院

<http://www.yahatahp.jp>

〒805-0061 北九州市八幡東区西本町4丁目18-1
TEL (代表)093-662-6565 FAX 093-662-1796
(小児救急センター:093-662-1759)

八幡病院広報誌「さらくら」第17号

2014年1月28日発行

発行・編集:八幡病院広報委員会(年3回発行予定)

印刷:(株)小田謄印社 TEL 093-621-3381

ACCESS

JR鹿児島本線:JR八幡駅から徒歩8分
西鉄バス:八幡駅前から徒歩5分・
市立八幡病院前から徒歩1分

